

# 財政健全化計画等執行状況報告書

## 1. 基本的事項

団体名	佐川町	会計名	病院事業会計	団体担当者	
承認年度	平成19年度				

## 2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	93.0	93.0	0.0	94.0	1.0	a
④ 改善額	430.0	491.0	61.0	23.0	468.0	a
⑤ 公営企業債現在高	989.0	1286.0	▲ 297.0	1273.0	▲ 13.0	e
⑥ 累積欠損金比率	77.0	59.8	17.2	90.2	30.4	a
				総合判定		e

## 3. その他

### (i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画: 平成19年12月公表 (HP) (広報紙・その他【 】)

執行状況: 平成23年5月公表(H21分) (HP) (広報紙・その他【 】)

### (ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画: 平成19年12月 説明

執行状況: 平成 年 月 説明

### (iii) 平成23年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ( )
  - 工業用水道事業
  - 都市高速鉄道事業
  - 下水道事業 ( )
  - 病院事業
  - 介護サービス事業
- 提出予定なし



**(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項**

保健・医療・福祉・介護の連携、統合を図る地域包括ケアシステムの拠点病院としての役割を担うため、従来の病院機能に加え平成19年度からデイサービスセンターの運営、平成20年度からは療養病床転換型小規模介護老人保健施設を併設、平成22年度からは2つのデイサービスセンターのうち1つをデイケアセンターに移行したことによる増。

**(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し**

病院の経営改善や近年の医師不足に対応するため、平成17年度より病室・病棟の改変を行い、医師を除く病院職員数の抑制に取り組んできた。また、収益増につながる医師の確保は最優先事項とし、平成19年度に6名だった医師数は現在8名。一方、職員給与費の縮小のために、勧奨退職を実施。今後においても病院の体制に応じた適正な職員数にすることを基本に改善に取り組む。

**(v)改善方針の進捗状況**



### (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

病院経営に欠かせない収益の増額を目指し医師の確保を最優先事項として取り組んできた結果、平成19年度に6名であった医師数が平成21年度には8名体制となった。その結果、病床利用率及び収入確保については当初見込みを達成しましたが、医師確保のための人件費または病床利用率向上による患者増に対応すべく看護師の増員が必要となった。そのため費用削減における人件費の伸びが平成21年度と最終年度に当初計画を上回った。

### (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

平成22年度から公営企業法全部適用を実施し、費用削減のため給与体系の見直しや人事考課制度の導入または勧奨退職制度などを行い適正な人件費抑制を実施してきた。

また、さらなる収益確保のために、平成23年8月には「収益向上プロジェクトチーム」を発足し、まずはレセプト調査(収益力の調査)を行い、各部門間連携の改善及び診療機能を強化し、新たな施設基準を取得するなど、経営の健全化に向けて取り組んでいる。

### (v)改善方針の進捗状況

平成23年8月から毎月「収益力向上プロジェクト会議」を実施。経営コンサルタントとのヒアリングなども行い、新たな施設基準の取得と診療単価のアップを目指す。

団体名	佐川町
会計名	病院事業会計

類型	e
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	1,234	1,182	1,121	1,055	989	1,273
実績(見込)値(B)	1,333	1,266	1,186	1,095	1,266	
乖離値(C) (A-B)	▲ 99	▲ 84	▲ 65	▲ 40	▲ 297	▲ 13
乖離率(D) (C/A)	-8.0%	-7.1%	-5.8%	-3.8%	-30.0%	-1.0%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
医療法改正に伴う病院情報システム の更新による増	103						7
平成22年度から開始した病院耐震化 事業による企業債の増					277		6
合計	103	-	-	-	277		

### (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

計画最終年度に目標値に届かない理由として、平成19年度に医療法改正に伴い病院情報システムを更新するために企業債を増額したこと、及び、平成22年度から開始した病院耐震化事業により企業債を増額したことが挙げられる。  
これらは、計画策定時には最善の努力を行ったとしても想定し得なかった事情によるものである。

### (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

平成19年度にはデイサービスセンター(2か所)の運営を開始。平成20年度にはケアミックス機能の充実・活用に向けて、4月に地域医療・介護部門を設置し、6月には介護老人保健施設を開設した。また、医師確保にも努め、平成19年度には常勤医師6名であったが、平成21年度からは常勤医師8名体制となったことにより、内科の診療体制も2診から3診体制がとれるようになり、土曜日の外来診療を行うことが可能となりました。  
また、平成22年度には公営企業法全部適用を実施し、給与表の改定を行い、人件費削減にも取り組んできた。  
このような経営改革に取り組んできたことで、平成19年度平成19年度からは4年連続で純利益は黒字となっている。  
上記(iii)のやむを得ない事情により、計画最終年度に企業債現在高が目標値に届いてはいないが、引き続き収益の向上と費用削減を実施し、経営の健全化に向けて取り組むことで今後の企業債の償還についても問題ないと思われる。

### (v)改善方針の進捗状況

平成23年度も引き続き収益の向上と費用削減に取り組んでおり、今年度の決算推計でも黒字決算となる見込み。

団体名	佐川町
会計名	病院事業会計

⑥ 累積欠損金比率

類型	a
----	---

(I) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	91.0	89.0	84.0	81.0	77.0	90.2
実績(見込)値(B)	87.0	81.0	67.0	59.0	59.8	
乖離値(C) (A-B)	4.0	8.0	17.0	22.0	17.2	30.4
乖離率(D) (C/A)	4.4%	9.0%	20.2%	27.2%	22.3%	33.7%

(II) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)	1,149	1,129	1,129
分子(累積欠損金)	885	675	675
累積欠損金比率	77.0	59.8	59.8

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度					
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--